

## 各病院の主な取組み

各病院において、次のとおり、府立の病院としての役割を果たすための取組みや、医療課題に適切に対応するための診療機能の充実に取り組みました。

### <令和元年度の取組み>

#### ◆ 大阪急性期・総合医療センター

- TAVI 専門施設の認定取得や一次脳卒中センター(PSC)の認定取得など、心臓血管センターおよび脳卒中センターの充実による心疾患・脳血管疾患部門の更なる高度医療推進  
(TAVI 件数:令和元年度 64 件 [平成 30 年度 52 件])  
(Mitra Clip 件数:令和元年度 27 件 [平成 30 年度 7 件])  
(脳梗塞急性期血栓回収療法件数:令和元年度 40 件[平成 30 年度 21 件])
- 大阪府市共同 住吉母子医療センターにおいて、院内の連携強化による高度医療の実施及び周産期医療の充実  
(分娩件数:令和元年度 1,315 件 [平成 30 年度 1,178 件])
- 生殖医療センターにおいて、公的病院として民間病院では実施できない生殖医療(合併症対応、人材教育等)を推進  
(生殖補助医療患者数:令和元年度 27 件 [平成 30 年度 3 件])
- 総合リハビリテーションセンターの立ち上げや外来リハビリテーションの充実による急性期から日常生活の復帰まで一貫したリハビリテーション医療の提供  
(外来リハビリテーション算定件数:令和元年度 12,624 単位 [平成 30 年度 10,415 単位])
- 三次救急部門を中心とした新たな ER 運営による救命救急部門の体制強化  
(救急車搬入患者数:令和元年度 9,872 件 [平成 30 年度 8,877 件])
- ロボット支援下内視鏡手術や高度肥満糖尿病患者に対する減量手術の実施など、患者の QOL(生活の質)の向上  
(ロボット支援下内視鏡手術:令和元年度 116 件 [平成 30 年度 78 件])  
(高度肥満糖尿病患者に対する減量手術:令和元年度 9 件)

#### ◆ 大阪はびきの医療センター

- 大阪府アレルギー拠点病院として、総合的なアレルギー疾患対策の実施  
(重症アトピー性皮膚炎患者に対する処置件数:令和元年度 11,161 件 [平成 30 年度 10,528 件])  
(食物チャレンジテスト実施件数:令和元年度 1,399 件 [平成 30 年度 1,275 件])
- 救急患者の受入れを拡大するため、救急医療勉強会を実施するなど、近隣の消防本部との連携を強化  
(救急患者受入れ件数:令和元年度 1,092 件 [平成 30 年度 780 件])
- 進行肺がん患者に対する胸部外科手術など、悪性腫瘍に対する集学的治療の実施  
(肺がん手術件数:令和元年度 169 件 [平成 30 年度 160 件])

#### ◆ 大阪精神医療センター

- 依存症治療推進センターにおいて、薬物・アルコール・ギャンブルの依存症に対する治療プログラムの運用及び効果検証
- 医療型障害児入所施設として、発達障がいの確定診断を実施  
(発達障がい診断初診件数:令和元年度 233 件 [平成 30 年度 223 件])
- 関係機関との連携による多職種での訪問看護の実施  
(訪問看護実施件数:令和元年度 5,128 件 [平成 30 年度 5,208 件])

#### ◆ 大阪国際がんセンター

- 令和元年 9 月にがんゲノム医療拠点病院に指定され、がんゲノム医療を実施
- 難治がん・高度進行がん・希少がんをはじめとするがん患者への最適な集学的治療の実施  
(手術実施件数:令和元年度 4,204 件 [平成 30 年度 4,014 件])
- 患者一人一人の症例に最適な治療法の選択や低侵襲ながん手術の実施  
(ESD 内視鏡的粘膜下層剥離術:令和元年度 828 件 [平成 30 年度 795 件])

◆ 大阪母子医療センター

- 総合周産期母子医療センターとして高度かつ安定的な周産期医療を提供  
(双胎間輸血症候群レーザー治療件数:令和元年度 48 件 [平成 30 年度 37 件])
- 新生児・小児に対する高度専門医療の提供  
(手術実施件数:令和元年度 4,291 件 [平成 30 年度 4,239 件])
- 研究所において、原因不明の先天性等新生児・小児疾患に対しての系統的な診断・解析の実施